

◆ 東日本大震災における男女共同参画局の取組

男女共同参画の視点を踏まえた問題点と被災者支援

男女共同参画局職員を現地に派遣し、ニーズ等を把握するとともに、東日本大震災に際し女性や子育てのニーズを踏まえ、以下の対応を行った。

○女性や子育てのニーズを踏まえた対応の要請

避難所等での生活に関する対応について好事例の発信と要請

- ・ 生理用品や粉ミルク、離乳食などの提供
- ・ 女性用更衣室や男女別トイレなど、女性や子育てに配慮した避難所の設計
- ・ 女性のニーズ等を反映した避難所の運営体制
- ・ 女性に対する暴力を防ぐための措置等
- ・ コミュニティ運営体制、心のケア等



<避難所間仕切り>



<女性更衣室>

○女性の就労等のために活用できる支援情報の提供

○男女共同参画の観点からの災害対応についてのホームページの開設

男女共同参画局の対応、女性のニーズに対応した支援・復興、被災者支援のリンク等

○平成23年度予算を活用した東日本大震災に対する事業の実施

- ・ 地域のニーズを踏まえながら、東日本大震災における女性の悩み・暴力相談、アドバイザー派遣等の事業を実施
- ・ 男女共同参画の視点による震災対応状況調査・災害時における男女共同参画センターの役割調査（内閣府、NPO法人全国女性会館協議会、公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会）を実施



<女性用品の提供>

○平成24年度は前年度調査と追加調査の実施により震災対応マニュアルを作成

◆ 被災地における女性の悩み・暴力相談事業

平成24年4月1日から岩手県、宮城県、福島県にて事業を継続実施

グループワーク、
相談会などを
共同実施

現地NPO等

法テラス等

被災者支援
センター等

相談窓口
(岩手、宮城、福島)



社会資源台帳

具体的な支援について支援機関・
団体を紹介、引き継ぎ

被災者
支援窓口

福祉事務所
病院

現地NPO等

民間シェルター

男女センター

警察等

＜岩手県、宮城県、福島県＞(H24.2.11～3.31)
相談件数1,465件
(岩手県322件、宮城県779件、福島県364件)
○電話相談 1,385件
(岩手県280件、宮城県748件、福島県357件)
○相談窓口による面接相談 80件
(岩手県42件、宮城県31件、福島県7件)
●DVに関する相談 156件
(岩手県24件、宮城県80件、福島県52件)
●その他暴力に関する相談 19件
(岩手県3件、宮城県10件、福島県6件)
※その他仮設住宅への訪問等

＜岩手県＞(H23.5.10～H24.2.10)
相談件数 705件

○電話相談 566件
○相談窓口による面接相談 139件
●DVに関する相談 22件
●その他暴力に関する相談 21件
※その他仮設住宅への訪問等

＜宮城県＞(H23.9.1～H24.2.10)
相談件数 387件

○電話相談 387件
●DVに関する相談 24件
●性暴力等に関する相談 2件
※その他仮設住宅への訪問等

＜相談の傾向＞

「配偶者のアルコール依存が進み暴力がひどくなった」

「自宅が全壊して移り住んだ環境に配偶者がなじめず、イライラして当たり散らされる」

「震災で住まいと仕事を失い、別居していた配偶者と同居したが暴力に耐えられない」

「震災後に元交際相手が支援物資を持って駆け付けてくれ、心細さからよりを戻したが、暴力がひどくなり怖い」等